

# 令和3年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

## ①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h3>1 一人一人の児童生徒の尊重</h3> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<h3>2 友達への思いやり</h3> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<h3>3 道徳・心の教育の充実</h3> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p>
<p>【学校から】「一人一人の児童生徒の尊重」「友達への思いやり」「道徳・心の教育の充実」全ての項目で生徒と教職員の「3」「4」の割合が、昨年度よりもかなり上がっている。学校目標のテーマとして「温かい学校」を掲げ、教育活動の全ての場面で意識して取り組んだことが大きいと考える。道徳においては、コロナ禍の状況の中に様々な立場の方々のことを考える学習に取り組み、研究授業を通して本校の道徳教育の推進が進んだ成果であると考えている。</p>		

## ②確かな学力を育む教育の推進

<h3>4 意欲的な学習態度</h3> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<h3>5 授業力向上</h3> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<h3>6 タブレット活用</h3> <p>子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。</p>
<p>【学校から】「意欲的な学習態度」「授業力の向上」「ICT活用」全ての項目で生徒と教職員の「3」「4」の割合が、昨年度よりもかなり上がっている。新学習指導要領を踏まえながらNIEの実践やタブレットを活用した授業を組み立て、探求活動や意見発表の場の工夫に取り組み、授業改善を一步一步進めている成果が出始めているのだと考える。しかしながら、学習の理解が厳しく、定着に課題がある生徒たちが存在することを謙虚に受け止め、更に一人一人の子どもたちの実態に目を向け、対策を打っていく必要がある。</p>		

## ③健やかな体を育む教育の推進

<h3>7 健康づくり</h3> <p>子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>
<p>【学校から】保護者及び生徒の「健康づくり」に関する数値は昨年度とほぼ変わりが、教職員の「3」「4」の割合がかなり上がっている。新型コロナウイルス感染症予防のための新しい生活習慣の定着に、改めて生徒に目を向け、対策を打っていく必要がある。</p>

## ①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

<h3>8 児童生徒理解</h3> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p>	<h3>9 いじめや問題への対応</h3> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>
<p>【学校から】「児童生徒理解」「いじめや問題への対応」「学校宇の支援体制」全ての項目で生徒と教職員の「3」「4」の割合が、昨年度よりも少し上がっている。しかし、保護者・児童生徒の中に「2」の意見もわずかではあるが見られた。教職員は生徒理解、いじめや問題への対応を全ての生徒に行っているつもりであるが、理解・対応してもらっていないと感じている保護者や生徒がいることを謙虚に受け止め、更に丁寧な「1」の生徒に目を向け、対策を打っていく必要がある。</p>	

## ②特別支援教育の推進

<h3>10 学校の支援体制</h3> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>	<h3>11 共生社会を担う人材の育成</h3> <p>「交流及び共同学習」等の実施は、相互理解の促進につながっていると思いますか。</p>
<p>【学校から】「学校の支援体制」については、教職員の「3」「4」の割合が、昨年度よりも少し上がっている。ステップルームやオンライン授業、お助けアンケート等の取り組みが進んでいることから考えられる。しかしながら、障がいに対する理解の啓発や支援の方法については、今後も更にアップデートしていく必要があると考える。</p>	

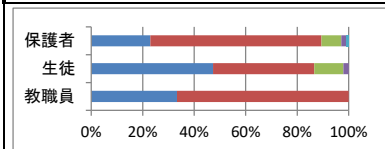
## ①子どもたちの身近な安全対策充実

<h3>12 安全と事故防止</h3> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】「安全と事故防止」については昨年度とほぼ変わらない数値であった。日頃から道具や用具の使い方について指導を繰り返し、生徒の事故防止に努めている。また、避難訓練を定期的に行い、緊急時に全員が安全が確保できるように努めている。</p>

## ②最適な学習環境の整備

### 13 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

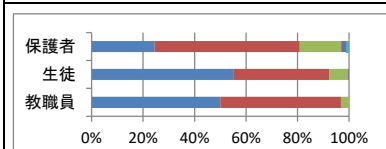


【学校から】「施設・設備の安全管理」については昨年度とほぼ変わらない数値であった。毎月の施設安全点検を入念に行うと共に、整備及び修繕に努めている。今後も安全点検に努めたい。

## ③家庭・地域社会との連携強化

### 14 教育方針・目標の理解

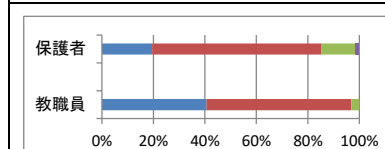
学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



【学校から】「教育方針・目標の理解」については、保護者・生徒・教職員の「3」「4」の割合が、昨年度よりもかなり上がっている。通信やHP、集会等で繰り返し伝えてきた効果が表れているものと考えられる。しかしながら、「家庭や地域との連携協力」については、コロナの状況もあってどうしても推進し辛かったことが数値として表れたのだと考える。

### 15 家庭や地域との連携協力

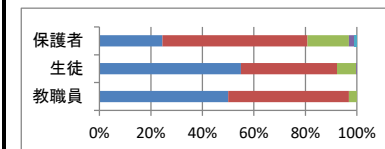
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



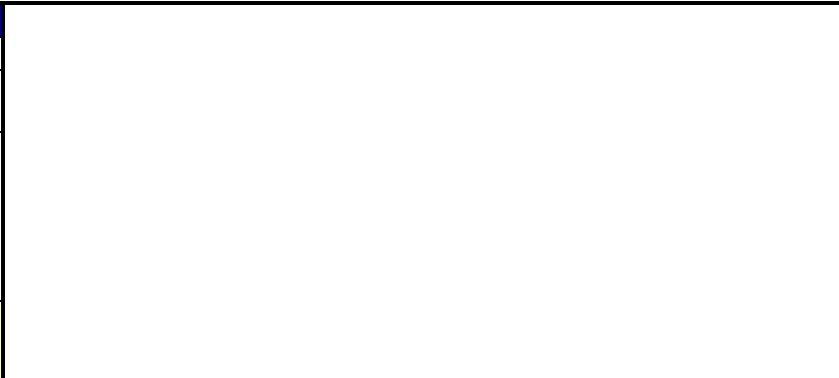
## ⑧本校の教育

### 16 基本的な生活習慣の定着

先生方は、基本的な生活習慣（あいさつ、そうじ、服装、時間を守る）の定着を図る取り組みを進めていると思いますか。



【学校から】「基本的な生活習慣の定着」については昨年度とほぼ変わらない数値であった。今後も基本的な生活習慣の定着に向けて、学校と保護者・地域が一体となって取り組んでいきたい。



## 来年度の具体的な取り組みについて

- 教育目標方針については、更にわかりやすく、学校・学級便り、学校HP、諸団体会合などあらゆる機会を通して情報発信を行う。
- ICT機器を活用しながら、授業改善に積極的に取り組み、ドリルパーク等の学習アプリを活用して個に応じた学習内容の定着を図っていく。
- 新型コロナウイルス感染症等の予防を図る新しい生活習慣の定着を徹底することと、心の健康の面での支援体制を確立し、不登校傾向生徒の減少を図る。
- PTAや地域の諸団体と連携した基本的な生活習慣の定着や安全教育の取り組みを図っていく。
- 全国学力調査や熊本市学力調査の結果から分析し、きめ細かな指導の工夫改善に努める。

## 学校関係者評価

- 学校からの発信については、掲示板の設置等を検討してみてもどうか。学校前を通行する住民等にもわかりやすくして効果はあると思う。
- 学校評価で出ている大多数の評価も学校としては、大いに参考となる意見ではあるが、少数派の意見にもしっかり目を向けて、対応（いじめ・学習・不登校）もすることも大切に行なって欲しい。
- 学校に何もかも頼るのではなく、地域や各自協力で協力できることはやっていきたい。